

# かもがわ 議会だより

平成24年(2012年)

5月15日  
第29号

発行 鴨川市議会報編集委員会  
〒296-8601 鴨川市横渚1450番地 電話04(7093)7825  
ホームページアドレス  
<http://www.city.kamogawa.lg.jp/JP/0009/0091/>



子育て総合支援センターによる、はじめて屋外で開かれた「出前保育」の様子

## 第1回定例会の会期日程

月 日	日 程
2月24日(金)	開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、市長の施政方針並びに議案の上程・説明
2月29日(水)	行政一般質問
3月1日(木)	議案に対する質疑・常任委員会付託(議案第12号から議案第18号まで、議案第25号、議案第26号、諮問第1号については討論・採決)
3月5日(月)	予算常任委員会
3月6日(火)	予算常任委員会
3月7日(水)	予算常任委員会
3月9日(金)	総務常任委員会
3月12日(月)	文教厚生常任委員会
3月14日(水)	建設経済常任委員会
3月22日(木)	常任委員長報告、報告者に対する質疑、討論・採決、発議案の上程・説明、質疑、討論・採決、閉会

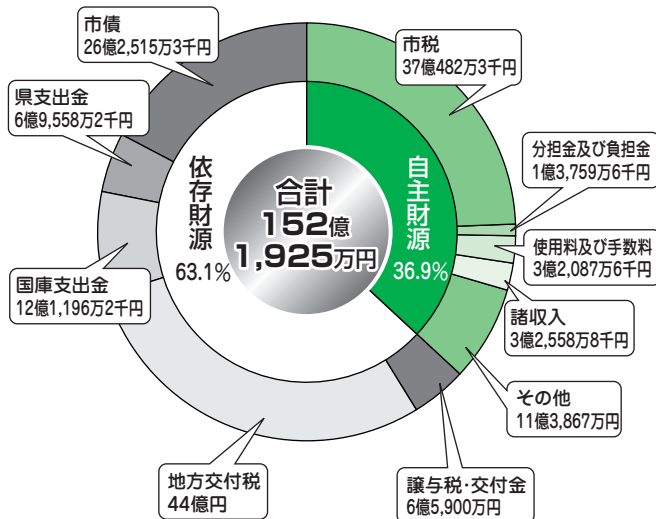
## 第1回定例会の主な内容

- 予算 ..... 2
- 議案質疑 ..... 4
- 常任委員会の審査内容 ..... 7
- 一般質問 ..... 10
- 議決結果 ..... 15

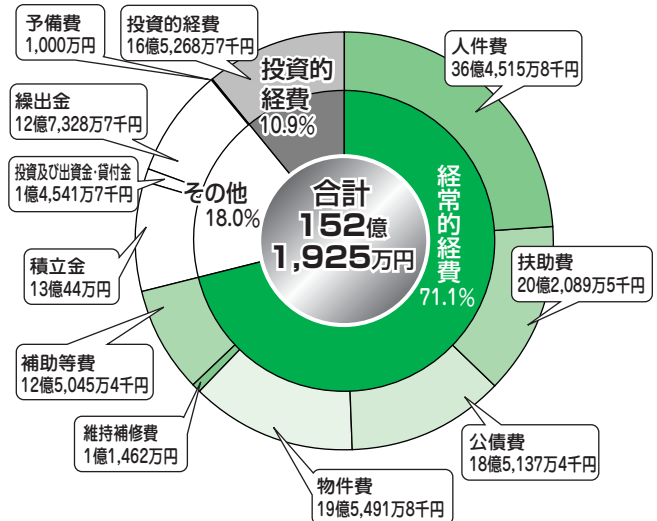
# 私たちの税金は どう使われるのか

平成24年度  
一般会計予算

## 一般会計歳入の内訳



## 一般会計歳出の内訳



## 主な歳入 財源

( )内は対前年度比

### 国・県支出金

国県が負担するお金

**19億754万4千円**  
(-1億5,334万6千円)

### 市 税

市民税や固定資産税等の税金

**37億 482万3千円**  
(-1億428万7千円)

### 地方交付税

行政運営に国から交付されるお金

**44億円**  
(+2億5,000万円)

### 繰 入 金

基金の取り崩しや、他会計から繰り入れるお金

**8億7,090万3千円**  
(-1億2,631万2千円)

### 使用料・手数料・分担金・負担金

事業に対する地元負担金や施設使用料など

**4億5,847万2千円**  
(-938万円)

### 市 債(市の借金)

事業等に充てるために借り入れる借入

**26億2,515万3千円**  
(+16億5,221万2千円)

### 交 付 金

国が交付する財政援助資金

**4億9,400万円**  
(-779万5千円)

### 諸 収 入

他の収入科目に含まれないお金

**3億2,558万8千円**  
(+4,639万3千円)

### 地方譲与税

国税として徴収した税を、一律的に客観的基準によって配分されるお金

**1億6,500万円**  
(+1,500万円)

## 主な歳出

使いみち

( )内は対前年度

### 民生費

- ・自立支援給付事業  
4億5,948万7千円
  - ・子ども医療対策事業  
7,514万6千円
- 42億42万2千円**  
(+23万4千円)

### 総務費

- ・(仮称)市民会館整備事業  
2億2,487万7千円
  - ・庁舎等維持管理費  
1億3,052万4千円
- 40億3,620万3千円**  
(+16億362万6千円)

### 公債費

- ・市債元金償還金  
15億7,463万3千円
  - ・市債利息  
2億7,674万円
- 18億5,140万9千円**  
(-5,380万2千円)

### 教育費

- ・総合運動施設維持管理費  
8,771万2千円
  - ・公民館維持管理費  
5,282万7千円
- 13億5,704万4千円**  
(+1,679万5千円)

### 衛生費

- ・鴨川清掃センター維持管理費  
1億2,866万1千円
  - ・予防接種事業  
7,456万2千円
- 12億9,656万4千円**  
(+8518万円)

### 消防費

- ・消防自動車購入 2台  
4,465万2千円
  - ・災害対策事業  
1,987万8千円
- 9億308万9千円**  
(+2,857万6千円)

### 土木費

- ・市道整備事業  
1億6,332万5千円
  - ・道理橋梁維持補修事業  
4,059万3千円
- 5億3,110万6千円**  
(-2,540万円)

### 農林水産業費

- ・有害鳥獣対策事業  
5,362万円
  - ・水産業振興補助事業  
1,172万2千円
- 5億1,794万7千円**  
(+2,270万4千円)

### 商工費

- ・中小企業振興事業  
8,979万6千円
  - ・観光振興事業  
5,019万円
- 2億8,083万5千円**  
(-1億1,736万円)

### 議会費

- ・議員報酬、職員給与、調査費など  
2億2,645万3千円
- 2億2,645万3千円**  
(-331万5千円)

### 災害復旧費

- ・林道災害復旧工事  
672万5千円
- 672万5千円**  
(+672万5千円)

### 労働費

- ・臨時職員賃金  
141万7千円
- 146万2千円**  
(-136万3千円)

## 平成24年度会計別予算

会計別	平成24年度当初予算額	平成23年度当初予算額	増減率(%)	
一般会計	152億1,925万円	136億5,665万円	11.4%	
特別会計	国民健康保険会計	45億1,352万4千円	43億3,394万4千円	4.1%
	介護保険会計	35億3,932万5千円	34億9,029万7千円	1.4%
	後期高齢者医療会計	4億480万6千円	3億7,481万1千円	8.0%
	計	84億5,765万5千円	81億9,905万2千円	3.2%
企業会計	水道事業会計	20億7,351万4千円	20億1,704万5千円	2.8%
	病院事業会計	7億8,316万5千円	7億2,132万9千円	8.6%
	計	28億5,667万9千円	27億3,837万4千円	4.3%
合計	265億3,358万4千円	245億9,407万6千円	7.9%	

# 2月定例会

## 平成24年度予算や本多利夫氏の鴨川市名誉市民の決定など27議案を可決・同意・答申

平成24年第1回定例会は、2月24日から3月22日までの28日間の会期で開かれました。

この定例会では、提出された議案等は、いずれも原案のとおり可決・同意・答申されました。

2月29日には5名の議員が登壇し、市政全般に関する一般質問を行いました。3月1日には、10名の議員が議案に対する質疑を行いました。

### 議案に対する質疑

◎議案第1号 鴨川市地域振興基金条例の制定について

旧市町間の地域住民の連帯の強化および地域振興に資するため、旧市町村の合併の特例に関する法律の規定による地方債を財源として基金を設置するもの。

#### 【主な質疑】

**問** 交付税措置されない残りの30パーセントは市が元利の返済をしていくこととなるが、借入れの金利と基金の運用利益

はどのくらいあるのか。

(飯田哲夫議員)

**答** 直近の財政融資資金の貸付利息は0.6パーセントで、利子の総額は約3887万円となり、30パーセント分の1166万4000円を一般財源でまかいます。

運用については国債等の方法によるのが一般的であり、基金の約半分相当額を千葉県公債の購入とした場合、10年満期ものの利回りは0.991パーセント、受取利息は1年間当たり約642万3000円の収入となります。

**問** 基金は合併特例債であるが、市民会館等に使用予定している起債可能な合併特例債との絡みはどうなっているのか。

(久保忠一議員)

**答** 制度的には二本立てになっており、市民会館や鴨川中学校などのハード事業とは別に、ソフト事業に活用するのが目的です。

◎議案第2号 鴨川市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について

市長の直近下位の内部組織として部を廃止し課を置くもの。

#### 【主な質疑】

**問** 一昨年の組織整備で産業振興課を設置し観光課を独立させたが、市民にとって非常に不便である。農林水産課と商工観光課のオーソドックスな形に直すべきと考えるが、また、横断的な対応を

するよう改善してはどうか。  
(飯田哲夫・刈込信道・渡辺訓秀議員)

**答** 農地法の改正と休耕地が増えてきている中、経営力企画力を持った企業が農業に参入できるよう農政が変化している一方、観光立国を目指す国の省庁の動きを先取りした形としましたが、横断的な対応については、今後の検討課題とさせていただきます。

**問** 部制を廃止するメリット、デメリットは。また、参事の権限と具体的な仕事内容は。

(滝口久夫・平松健治議員)

**答** 部長制というものは過渡的な手段として複雑な合併事務を、総合的かつ合理的に進める上で必要でした。部制廃止後は、決裁事項も引き継ぐよう考えています。

◎議案第4号 鴨川市税条例の一部を改正する条例の制定について

個人の市民税の寄附金税額控除の対象となる寄附金について、仮認定特定非営利活動法人に対する寄附金を追加するもの。

#### 【主な質疑】

**問** 仮認定特定非営利活動法人について、現在寄附控除対象の認定特定非営利活動法人との違いは。

(久保忠一議員)

**答** 東日本大震災を契機に議員立法により一部改正がなされ、仮認定制度の導入規定等が設定され、税の優遇措置を想定し、平成27年3月末までは設立後5年以内でなくても、すべてのNPO法人が仮認定を県に申請ができません。

**問** 平成26年度から10年間に限り市民税の均等割

を1人500円上げるが、アップする理由と対象者数、それによる単年度の税収増加額は。

(平松建治議員)

**答** 復興に関し地方公共団体が実施する防災のための財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律に基づくものです。

対象者は1万9459人で、972万9500円税収が増えます。

◎議案第6号 鴨川市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

平成24年度から平成26年度までの第1号被保険者に係る介護保険の保険料率の設定等を行なうもの。

【主な質疑】

**問** 介護保険料改定に伴う報酬の改定により、どのような報酬配分がされるのか。また、新たに創設されたサービスをどう展開していくのか。

(佐藤拓郎議員)

**答** 介護職員処遇改善に

係る新たな報酬の設定、医療と介護の連携強化による訪問介護、リハビリテーションの充実、そして入院時における医療機関と介護サービス事業者との連携促進に係る改定、訪問看護に係る改定、認知症、高齢者へのサービス提供に係る改定が今回の内容です。

新たに創設されたサービスについて、介護サービス事業者の中では、平成24年度からの3年間はサービス利用者の状況や必要量などを見据えて、今後検討していくと聞いています。

◎議案第8号 鴨川市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

市営住宅の名称及び位置から戸数を削除するもの。

【主な質疑】

**問** 戸数を除いた理由および市営住宅の今後の方向性について伺う。

(鈴木美一・平松健治議員)

**答** 老朽化している住宅は、解体工事が予想され、その都度、条例を改正する煩雑化が予想されること、また、他市の条例を参考としました。

今後、民間アパートの空き家が予想されるため、老朽化した市営住宅は廃止の方向で検討しています。しかし、生活困窮者に対する配慮から、改修できるものは改修して、今後も提供していきます。

◎議案第13号 平成23年度鴨川市一般会計補正予算(第4号)について

歳入・歳出それぞれ4761万9千円を減額し、予算総額144億4441万8千円とするもの。

【主な質疑】

**問** 東日本大震災災害救助費負担金の内訳について。

(佐藤拓郎議員)

**答** 岩手・宮城・福島県からの被災者に対する災害救助経費です。

**問** 安房東中学校屋内運動場改修工事について。

(佐藤拓郎・平松健治議員)

**答** スケジュールは4月入札、来年2月には完成とし、授業や行事に支障のないように調整します。

国の第3次補正予算で措置された緊急防災・減災事業の適用となり、耐震工事については、国から前倒しの要請があり、補正計上しました。

**問** 財産収入のマイナス補正について伺う。

(飯田哲夫議員)

**答** フラワーセンターの賃料について、東日本大震災の影響により3月から6月分を減額したものです。

◎議案第19号 平成24年度一般会計予算について

歳入・歳出それぞれ152億1925万円とするもの。

【主な質疑】

**問** 環境衛生費の安房郡市広域市町村圏事務組合負担金について。

(佐藤拓郎議員)

**答** 火葬場運営費4061万2千円、新火葬場建設費1958万8千円、ごみ処理広域化推進費3199万8千円が本市の負担額です。

**問** 公民館費の耐震診断委託料について。

(佐藤拓郎・辰野利文議員)

**答** 中央公民館耐震診断に伴うものですが、市民会館との統合については考慮していません。

**問** バスの運行委託料を少なくするため、送迎用のスクールバスを一般の方が利用できないか。

(佐藤拓郎議員)

**答** スクールバスの運行経路に、新たな路線を開設するには経費や、関係機関の許認可が必要であることから、通園・通学の時間帯にバスを運行させることが最も経済的であるため、一般の方の利用はできません。

**問** 市民会館関係委託料、土地購入費について伺う。

(飯田哲夫・久保忠一・平松健治・滝口久夫議員)

**答** 建設地は現在の場所とし、来年度早々に管理運営基本計画策定、測量、不動産鑑定委託、5月から6月に解体設計、7月から8月に基本設計、実施設計、追って地質調査の業務を、それぞれ発注します。土地購入は、10月には関東財務局千葉財務事務所と正式に締結したいと思います。

**問** 観光協会補助金について伺う。  
(滝口久夫議員)

**答** 小湊の夏季駐車場は23年度から無料で設置しています。また、市の補助金が観光協会の直接寄附金に流れているという認識はありません。  
**問** がん検診委託料につ

いて伺う。

(佐藤文秋議員)

**答** 検診の負担率はおおむね2割、5歳ごとの節目年齢は無料です。

**問** 貝渚大里線橋りょうの交差点の詳細設計について伺う。  
(渡辺訓秀議員)

**答** 今後、地権者等に説明するとともに協議していく手順を予定しています。



議案第1号 鴨川市地域振興基金条例の制定について

賛成討論

基金を有効な方法で管理することや、基金の運用益の処理が条例で定められていること、国債の受け入れの形で運用を行うということであり、本条例の設置後に積み立て

られる基金が厳格な管理のもとで基金の設置目的を達成していただくことに期待し、本案に賛成します。

(平松健治議員)

議案第6号 鴨川市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論

本市の高い高齢化率、年金生活者の多い中、介護保険料の値上げは生活を圧迫することになりま

す。年間約6万円の負担ということになると、安全・安心、命のための保険が、命を脅かすことになるため、本案に反対します。  
(滝口久夫議員)

議案第8号 議案第8号

鴨川市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論

各市営団地の住宅戸数

を条例から削除することは、各団地の戸数を減らしていくとの姿勢を示すものである。戸数の明記は、自治体の福祉の規模やその取り組み姿勢を示すもので、条例からの削除は、その後退を示すことになることから、本案に反対します。

(平松健治議員)

議案第19号 平成24年度一般会計予算について

反対討論

新市民会館建設について、国土交通省が津波避難ビルの整備を促進するため、構造要件に関する暫定指針を策定しています。仮に基準に従い、避難ビルを兼ねる建物として、収容人員を確保した場合、実際には予算をオーバーし、一般財源をより多く使う場合も十分考えられ、計画の継続そのものを考え直さなければなりません。つまり、しっかりと検討する

には、まだ時間不足であることから、本案に反対します。  
(久保忠一議員)

反対討論

現市民会館敷地付近に市民会館を建てることを前提とした予算の計上だと思えます。これについて、合併の協議の中で、新たな市民会館を造ることを合意したわけですから、造ることに反対する気持ちはありません。ただ、そのときに、東日本を襲ったような大地震。大津波が想定されたでしょう。そういう中で、現在の場所に造るといふことについては、非常に問題があることから、本案に反対します。  
(飯田哲夫議員)



# 常任委員会の 審査内容

各常任委員会に付託された議案等の審査内容の主なものを掲載します。議案等の名称については、15ページをご覧ください。

## 予算常任委員会

### ◎議案第19号

**問** 庁舎エレベーター改修事業について、これから行う庁舎の大規模改修、耐震補強の設計を行う中でエレベーターの設計が出てくると思うが、整合性について伺う。

**答** 今回実施するのは、今年の10月以降に保守を続けていくために必要な工事を実施するものです。今後の庁舎の耐震、大規

模改修工事設計の段階において、今回実施するエレベーター保守に必要な工事については省かれます。

**問** 江見地区に防災備蓄倉庫を建設することだが、どのような備品あるいは食料などを備えるのか。

**答** 発電機や投光器、ブルーシートなどの避難所の開設に必要な備品や土のう袋やスコップといった避難路の確保のための備品、その他ヘルメットやのこぎりなどの工具です。

食料については、今現在市役所、旧鴨川中学校および天津地区の備蓄倉庫に約5000食を保有しています。

**問** 亀田医療大学ができ、今まで住宅街でない場所にアパートが建っているので安全対策が必要ではないか。

**答** 亀田医療大学周辺は、旧鴨川中学校だった関係

上、比較的細かく防犯灯が設置されています。しかし、通学路や行動範囲は中学生とは異なることから、学校関係者との協議、地域の皆さんの意見を伺いながら整備していきます。

**問** ふるさとハローワークについて予算化されている。本来国の事業として行うものと理解しているが、これは国の事業の地方への移管の一環なのか。また、設置のメリットは。

**答** ふるさとハローワークは、ハローワークが設置されていない市町村が国と連携し、職業相談、職業紹介等を行うものです。

今回の設置に当たって、館山公共職業安定所との協議が整い、相談員2名の賃金や消耗品、備品購入費等の経費は国が、臨時職員である事務員の賃金と光熱費は市が負担するため、予算措置であり、

国から市へ移管するものではありません。

この設置により、館山公共職業安定所に出向かなくても求職者に対する職業相談等が受けられることになり、求職者にとっては非常に便利になります。

**問** (仮称)市道貝渚大里線の橋りょう・交差点詳細設計業務について伺う。

**答** 県営ほ場整備事業が実施される予定の貝渚、大里、八色地区を通る延長2.6キロメートルの幹線市道として、(仮称)貝渚大里線の計画を進めていますが、このルート上にある貝渚橋の架け替えに伴う橋りょうの詳細設計と主要地方道鴨川保田線と交差する部分の詳細設計を委託するものです。

道路規格は、第3種第3級の道路で、設計速度は時速50キロメートル、片側3メートルの2車線で、3.5メートルの自転

車・歩行者道を含め、総幅員は14メートルとなる予定です。

また、貝渚橋の高さに県道を合わせるため、県道を1.6メートル程かさ上げを行うことから、県道の計画範囲は280メートルで、縦断勾配は約2パーセントとなります。

**問** 総務費、市民会館について、市民から現敷地に建てるのは考えられないという意見は、現在でも聞こえてきます。

市として現敷地に建てるからには強い方針、強い熱意が必要ではないか。

**答** 鴨川市の売り物である前原、横渚海岸、そして駅から南に経済的活性化の要因を求めるとすれば、一時避難所という機能を含めて建設し、そこから地域の活性化につなげていく拠点にしたいと考えています。

**問** 市民会館を現敷地に建てる場合、莫大なコストがかかり、自主財源を

多く出さなければできない場合は原点に立ち返って考え直さなければならぬ点も多いと思うが。

**答** プロポーザル方式の入札の際に、金額も提示した上で提案をしてもらいます。

よって、その枠を超えてまでということになると、これは施主側の意図に反するということだと思います。

その際には検討させていただきたいと思っております。

プロポーザル方式とは…主に業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

## 総務常任委員会

### ◎議案第2号

**問** 本会議または議員全員協議会において、今後課の名称変更について検討するとの答弁でしたが、どのような名称で、いつごろ変更するのか。

**答** 産業振興課という名称については、議案質疑や議員全員協議会の中でいろいろな意見を伺っています。議会からの意見はもちろん、いろいろな皆さんの声に耳を傾けながら、わかりやすい名称を検討したいと思えます。

時期については、平成25年4月1日を考えており、今年の12月定例会に諮りたいと考えています。

## 建設経済常任委員会

### ◎議案第8号

**問** 市営住宅の戸数を条例から削除することによって、どう改善されるのか。削除の趣旨を伺う。

**答** 他市町村の状況を踏まえ、戸数は一般的に列記していないものが多いことから改正をするものです。市営住宅の現状については継続してホームページなどでお知らせしていきます。

**問** 提案理由に、地域の自主性および自立性を高

めるためにとあるが、この点について説明を願いたい。

**答** 地域の自主性および自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律が公布され、条例制定権の拡大や、県の事務事業等が市へ移譲されるものであり、この改正によって行う事務事業に対しては交付税措置されます。

### ◎議案第23号

**問** 鴨川市水道事業会計資金計画の中で、国県補助金等の当年度予定額がゼロとなっているが補助金等はないのか。

**答** 国県補助金で、石綿管の更新事業として、平成14年度から水道管路耐震化等推進事業を活用して実施してきましたが、平成23年度で終了しました。また、きめ細かな交付金事業として、横渚浄水場の粉末活性炭注入設備工事を実施しましたが、事業が終了したため平成

24年度はゼロとなります。

**問** 今までの補助金では、石綿管更新工事とあったものが、今回は配水管更新工事となっているが違いがあるのか。

**答** 配水管の中に、石綿、塩化ビニール、鉄製などの種類があります。石綿管は安く提供できたことから全国的に普及しましたが、強度が弱いので、補助事業で石綿管を更新してきました。

## 文教厚生常任委員会

### ◎議案第6号

**問** 鴨川市の介護保険料は、安房郡内で一番高い額になっているが要因は。

**答** 医療と介護の連携が図られ充実しており、介護療養型の医療施設が4施設あり、特別養護老人ホームなどに比べると介護報酬等の単価が高くなっています。

**問** 次期3カ年の介護保険事業計画では、地域密着型サービス施設の整備

を行うとあったが、どのような施設か。

**答** 食事や介護等が受けられるバリアフリーのサービス付き高齢者向け住宅で、平成25年度に18床の整備を計画しています。

### ◎議案第21号

**問** 政府から24時間対応の定期巡回随時対応サービスの導入が発表されたが、鴨川市の考えは。

**答** 次期介護保険事業計画の中では、ホームヘルパー事業者の協議会と意見を交わしながら、どのようなサービス展開を図っていくか、状況を見て検討していきます。

### ◎議案第22号

**問** 一時期、後期高齢者医療制度は、国民健康保険に統合するという動きがあったが、現在の状況は。

**答** 厚生労働省では、平成22年12月に、平成24年度で後期高齢者医療制度を廃止し、大半の方が市町村の国民健康保険に移行し、75歳以上の国民健



康保険医療費は、現役世代と分けて都道府県単位で財政運営を行う。

さらに平成30年度には全世界で国民健康保険を都道府県単位で運営するという制度案をまとめていきましたが、全国知事会等では、強く反対しています。

政府は、税と社会保障の一体改革大綱に今国会への後期高齢者医療制度の廃止法案提出を明記していますが、平成24年度での廃止は、実現不可能な状況となっています。

◎議案第24号

**問** 他の病院との連携の実績と今後の取り組み方は。

**答** 医療連携については、急性期から亜急性期等になった患者が、亀田病院から転院される連携があります。

また、安房の医療圏内の医療連携もあります。

今後も患者に適した医療・介護が受けられる形で連携を取っていきたいと考えています。

## 議員研修会を開催！



議員の資質向上と議会の活性化を図るため、1月20日に特定非営利活動法人多摩住民自治研究所理事長の大和田一紘いっこう氏を講師にお招きし、「議員のための財政分析講座」と題して講演をいただきました。

地方分権の進展に伴い、市議会の果たす役割はますます重要となっており、議会力の向上



が望まれています。議会の審議能力の強化と、議会の活性化を図り、議員一人ひとりが、市民生活に密着した市財政の分析能力を高めることができた、大変有意義な研修会となりました。



生し尿収集委託業務等について

**問** 鴨川市一般廃棄物処理基本計画に基づき、民間活力の導入の推進、市職員の高齢化、市内の業者の育成および雇用、経済波及効果等の行政改革のもと平成22年4月1日に民営化されました。許可業者が現在8社の競合で市外からの参入は市内の業者を圧迫し、安定した業務を展開できず市民サービスに悪影響を及ぼすのではないかと。一般廃棄物収集運搬許可について、事業用施設および申請者の能力が事業を的確かつ継続して行うに足り得ること、廃棄

物の処理及び清掃に関する法律に規定する欠格要件に該当しないこと、平成21年10月1日現在本市に住所、法人は営業所等を有する者となっている。市外からの参入業者1社が、9月17日に支店を設置、登記が10月21日、10月1日現在で登記によって支店が確認されるのではないかと。3週間以内に登記しなければならぬが、40日近く遅れての登記は違法行為ではないか。

**答** 事前協議期間内の11月30日までの2カ月間に支店の設置が確認されたことから、許可要件に合致していると判断しました。会社法により支店を設置した場合、2週間以内に登記を行わなければならないとの規定があり、本件の場合、登記が34日間を経過して行わなかつ

たことについて過料が科せられる場合があります。

**問** 市内5地域のうち田原、長狭地区全域と西条、横渚の一部が民間業者に委託となる。1回目の入札が平成24年1月31日に実施され市内の業者が、5年総額6534万円で、不落札随意契約となっているが、内容について伺う。

**答** 許可業者8社を指名業者に決定し、委託料は収集車1台あたりの経費、人件費等で算出しました。3度の入札でも予定価格に達せず入札参加者の同意を得て、最低入札価格者に見積書の提出を求め、市内の業者が落札したものです。

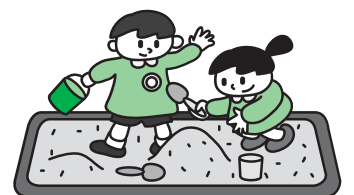
**問** 今後、新規の会社が許可申請を行う場合の対応はどうか。

**答** 既存の許可業者が浄化槽清掃および汚泥等の収集運搬業務を引き続き行うことが相当と考えています。

今後の民間委託計画については、平成25年度以降の収集職員数の動向等を踏まえ、区域の拡大も検討してまいります。

天津保育園の移築が進まない理由は

**問** 東大地震研究所の発表で、4年以内にマグニチュード7クラスの直下型地震の発生率が70パーセントとされた。市民の命と財産を守る責務のある市長として、保育園の移築は早期実現が望まれるが、実現しない理由の一つに民地の買収の失敗があるのではないかと。民地の動きは市場経済の一環だが、予定の民地は平成22年12月に売却、平成23年1月に現地主になり、一カ月以内に地主が2人も変わっている一連の動きから購入交渉は高価になると予想され、市民からこれを指摘された。移築計画は振り出しに戻らざるを得なかった



わけだが、幼保一元化の計画について、天津小学校に幼稚園を入れ、幼稚園の場所に保育園との発言があったが、新たに、幼稚園移転問題を発生させた大震災の発生から1年が過ぎても、見通しすらたっていない状況である。移転は何年までに実施するのか伺う。

**答** 第2次学校適正規模検討委員会で江見地区、天津小湊地区の学校施設、幼児教育施設全体の検討の中で、天津保育園の移転及び幼保一元化の実施形態等検討を進め、方向性が定まり次第、実施計画等、関係予算を確保し、できる限り早い時期に移転の事業を実施します。



結婚支援事業について

**問** 市内における未婚者を結婚させるために、どのような対策をとっているのか。また、どのように考えているのか伺う。

**答** 平成9年度から結婚相談所を開設（社会福祉協議会委託）し、13人の結婚相談員が相談業務を実施しています。

昨年度は、出会いの場の創出イベント「ふれあいパーティ」を2回実施し、11月に開催した「婚活イン鴨川」には、52人（募集定員30人）が参加しました。

今後、結婚相談所機能の充実はもとより、出会いの場の創出、機会拡大が必要と考えています。

また、各種団体や事業所等と連携、協働団体と協働を図るとともに福祉課や社会福祉協議会の枠にとられない婚活イベントの開催などについて研究を進めていきます。

**要望** 福祉という側面からだけでなく、本市の主要施策として位置づけて取り組むよう強く要望する。

津波発生時の避難道の整備について

**問** 後背地が山地になっている地域の避難道について、また加茂川河口付近の安全対策について伺う。

**答** それぞれの地域において、安全で短時間に避難できるルートの確立は、現実的な課題として認識しています。

昨年の津波避難訓練では7メートルの津波を想定し、避難場所、避難経

路を選定しました。しかし、最大級の津波に対しては、より高い場所への避難が必要であり、そのための道が確保されているか、また、整備の状況については、今後、調査して、十分に検討します。

加茂川河口周辺地域の安全対策は、県が新たに策定予定の津波浸水予想図に基づくハザードマップを作成し、避難経路、避難場所などを明らかにしていきます。

子どもたちの学力・体力の充実について

**問** 武道必修化に伴う柔道指導の安全対策及び部活動の現状と振興策について伺う。

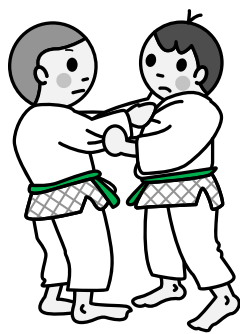
**答** 本市の3中学校では、本年度から柔道の授業を実施しています。

その実施では、体育科教員と柔道部顧問または特別講師と2名で指導に当たり、授業の充実と事故防止対策を図っています。

す。

部活動は、平成24年度から中学校学習指導要領で、初めて教育課程に明確に位置づけられました。本市3中学校では、部活動全員参加が原則になっており、ほぼすべての生徒が部活動に所属しています。また、多くの部活動が安房支部代表として、県大会出場を果たしています。

体力・競技力向上の振興策の一例として、今年度から開始したメディカルチェック事業があります。部活動中のけがの防止と故障箇所の早期発見・治療を目標に、亀田クリニックと国保病院の協力をいただき実施しており、大変好評です。



また、現在、各団体が連携する中で、選手育成の体系化を図る「鴨川市スポーツ推進計画」を策定中です。

**要望** 子どもから老人までの健康を図るとともに、スポーツの場を提供し、併せて選手育成を図る場としての「鴨川オーシャンスポーツクラブ」の体系化を検討してほしい。

**問** 県立長狭高校の医療・福祉コースの設置について今後の展開を伺う。

**答** 本市の2つ目の大学、医療大学と関連する高大連携、医療産業と結びついた医・産・学を連携する中でのまちづくりのために、特色ある教育活動として、県に対して医療・介護コースの設置を要望しています。

今後、少子高齢化に伴う人口減少の中で、鴨川を愛し、定住する人材の養成を官民一体となって考えていきます。

一般質問③

公明党

佐藤 文秋 議員



AEDの配置マップについて

**問** AED（自動体外式除細動器）は現在、鴨川市内には何箇所設置してあるのか。また、市のホームページなどに掲載して、市民に配置箇所を周

**答** 本市ではAEDが、救急救命に果たす役割の重要性にかんがみ、平成17年度の総合保健福祉会館の設置を皮切りに、平成18年度には総合運動施設に、平成20年度には当時の小中学校全校に、平成21年度には地域活性化経済危機対策臨時交付金を活用して本庁舎、福祉センター、子育て総合支

援センター、中央公民館などの各公民館、コミュニティセンター小湊および消防指揮車など計15台を配置するなど、順次、設備を拡充してきました。

現在、37の施設などに各種イベント開催時の持ち出し用も含め39台のAEDを配置しています。

なお、市の関係施設以外の施設については、財団法人日本救急医療財団が運営するホームページの、AEDの設置場所検索、さらには千葉県の県有施設および県関連施設

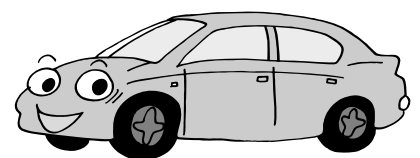
における設置箇所を確認した限りでは、県立鴨川青年の家などの教育関係機関、介護老人保健施設や医療機関など30の施設に計33台が設置されています。

今後、AEDの設置箇所をマップ化し、ホームページやパンフレットなどで周知するほか、より有効活用に向けていきたくと考えています。

公用車の有料広告掲載について

**問** 現在、市の「ホームページ」、「広報かもがわ」などに有料広告を掲載しているが、厳しい経済状況を踏まえた上で、自己財源の確保の一環として市の保有する公用車のドア部分への有料広告を掲載してはどうか。

の確保が図られており、本市の財政運営における財源の確保に大きく寄与してきたものと認識しています。



**答** 有料広告の掲載については、平成18年度から平成22年度までを計画期間とする行政改革大綱において、安定した財政基盤の確立のための施策と、税外歳入の確保の中に位置づけられていました。その実施計画に基づき、平成18年度にホームページと広報誌への広告掲載を決定、平成19年度に要綱を整備し、平成19年6月から実施しています。

景気低迷に加え、東日本大震災の影響に伴う経済の落ち込みによる収入の減少など、自治体の財政状況はますます厳しいものとなっていくことが予想されることから、今後、自主財源の確保を図っていくことは、本市にとって重要な課題であると認識しています。

これまでの実績は、「ホームページ」と「広報誌」の2つを合計すると540件で601万円の収入

このようなことから、指摘の公用車はもちろんのこと、他の手段による有料広告掲載についても、他市の事例や状況等を参考に、企業からの需要等を見極めながら今後検討してまいります。

市関係施設（平成24年3月31日現在）

No.	施設名	No.	施設名
1	本庁舎	18	総合運動施設 野球場
2	市民会館	19	鴨川中学校
3	吉尾出張所(吉尾公民館)	20	長狭学園
4	江見出張所(江見公民館)	21	安房東中学校
5	総合保健福祉会館(ふれあいセンター)	22	江見小学校
6	天津小湊保健福祉センター	23	太海小学校
7	福祉センター	24	曾呂小学校
8	子育て総合支援センター	25	鴨川小学校
9	天津小湊支所	26	東条小学校
10	コミュニティセンター小湊	27	西条小学校
11	四方木ふれあい館	28	田原小学校
12	中央公民館	29	天津小学校
13	東条公民館	30	小湊小学校
14	太海公民館	31	旧江見中学校
15	図書館	32	旧大山小学校
16	総合運動施設 文化体育館	33	長狭子ども園
17	総合運動施設 陸上競技場	34	東条保育園

市関係施設のAED設置一覧表  
(詳しくは、鴨川市ホームページでご覧下さい。)

一般質問④

政友クラブ 佐藤 拓郎 議員



原発事故賠償請求の鴨川市の対応について

**問** 鴨川市は東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故による直接的な被害はなかったが、震災後の全国的な自粛ムードの高まりや計画停電の実施、放射能物質の飛散に伴う風評被害などにより観光産業や農水産業をはじめとする地域経済への多大な影響があった。

**答** 本市も対象地域に選ばれている以上、経済的損失について明らかにし、賠償請求するべきと思うが本市の考えは、専門家などとも相談

をしながら損害額の精査、特定を進めるとともに、東京電力による地方公共団体への賠償に向けた枠組み策定への取り組みや、具体的な東京電力との個別協議なども視野に入れながら、検討を進めて賠償請求します。

毎年3千万円以上の赤字を出すコミュニティバス事業の見直しについて

**問** 平成24年度の赤字縮減に向けて、具体的にどのような創意工夫を行うのか。

**答** 第一に、コミュニティバスの効率的な運行に資するため、運行経路と運行時刻を見直すこと、第二に、その利用促進と公共交通機関の確保を図っていくため、公共交通の空白地域の解消を図ること、第三に、コミュニティバスの改周知・啓発

とバス停留所の整備に努めること、第四に、交通弱者の移動支援となり得る新たな方策と適切かつ利用し易い運賃体系を検討すること、その他として、有料広告の導入やデマンド運行についても検討し、環境の整った事業から順次、実施できるよう取り組んでいきたいと考えています。

**問** 本市の運行委託料は合わせてどのくらいになるのか。

**答** 市内の保育園や幼稚園、小・中学校への園児、児童、生徒の皆さんを送迎するスクールバス等の運行委託費等の総額ですが、平成24年度で予定しています予算額で、長狭こども園へ通園する主基地区や大山地区の園児を送迎するための臨時便の運行経費として、210万円、同じく長狭小学校へ通学する児童の送迎用貸切りバスの運行経費として、8101万1千円、

鴨川中学校へ通学する江見地区の生徒の送迎用貸切りバスの運行経費として、2107万6000円を計上しているところで、幼・保育園や小・中学校の送迎用経費の合計では、3136万7000円となっています。

また、安房鴨川駅西口から城西国際大学観光学部間を運行する「大路線」は、当該年度の経常費用から経常収益を差し引いた経費、すなわち収益で賄えない部分については、市が補助金を交付して路線を維持しており、336万5000円、さらに、コミュニティバスの運行委託費から運行収入見込み額を差し引いた、3150万円を加えると、市が業務委託等を行います各種のバスの運行経費については、総額で、623万2000円を予定しています。



コミュニティバス3ルートの内、北ルートと南ルートで運行している、小型ノンステップバス。

一般質問⑤

政友クラブ 久保 忠一 議員



**駅や観光スポットなどで  
の公衆無線LANの導入  
と外国人観光客誘致を含  
む観光振興について**

**問** 個人旅行の情報収集に不可欠な公衆無線LANは一部のホテルなどに限られ、駅や観光スポットにも無料で設置することを提案する。

**答** ニーズは高く、外国人の利用のみならず災害時の情報発信にも有用で、システム構築のため調査研究していきます。

**問** 外国人観光客誘致のため「かもなび」の外国語での案内や要所でのスタッフの英語能力の習得も必須と考えるが。

**答** 観光学部留学生などの協力で主要外国語のパ

ンフレット作成や通訳など、木更津アウトレット開業に伴う外国人受入体制を整えたいと考えます。

**有料道路無料化運動の今後について**

**問** 鴨川有料道路等の無料化について22年9月に一般質問を行い、その後も有料道路を無料にする会や商工会を中心とした署名運動などが展開されており、関係各団体から知事への直接の要望陳情もなされたが、今後の市としての取り組みについて伺う。

**答** 今までの官民の努力の結果、県ではがんばろう千葉観光振興事業の一環で無料往復通行券を活用するキャンペーンの予算が計上されており、大きな前進であると考えます。

**問** 圏央道やアウトレットが整備されても、有料

道路が鴨川に来る人の流れを阻害する要因となるので、恒久的な無料化を早期に実現することが重要だ。

**答** 無料化は計り知れない恩恵があり、市民の要望としてしっかりと関係機関に伝えていきます。

**高速バスやJR特急運行など東京方面への公共交通アクセス改善について**

**問** 鴨川有料・房総スカイライン経由の直通バスを走らせ、都心まで1時間半以内で到着できるようなノンストップ便の設定が必須であるので、バス会社に対し要望できないか。

**答** 要望しましたが、採算が見込めないとの理由で断念しました。

**問** 京葉線新木場からりんかい線を通り、乗降客の多い渋谷、新宿、池袋に直通させるルートに特急を設定すれば鴨川により多くの人が来やすくな

るので、外房沿線自治体とともに要望してみてもどうか。

**答** 実現には困難な問題が多いと思われませんが、鴨川に人が訪れやすくなるような可能性を模索します。

**農産物6次産業化について**

**問** 農産物等を原料に、色々な商品開発をする業者や個人が多く出ており、バックアップするために、お互いの連携を図ってほしい。

**答** 農業6次化研究会が発足されると聞くが、市も安房農業事務所、JA安房とともに支援協力に努めます。

**問** 今回の予算からちばの6次産業化チャレンジャー事業補助金など具体的な支援が組み込まれているが、今後一般の農業者を含め融資、補助金は受けられるのか。

**答** 年間農業所得600

万円以上、年間労働時間2000時間以下の効率的で安定した農業経営を行う認定農業者が補助金等を受けるための要件としています。

**問** 認定農業者に限らず頑張っている人にもベンチャー支援的なことが必要だと思われるので、支援をしていただきたい。

**答** 市内には珍しい農産物もあり、条件が整えば積極的に支援したいと考えています。実際鴨川七里の新たな加工品の開発として、市内9社と生産者が連携し、菓子、豆腐、豆乳などの試作品の評判も良く、これから販路拡大を図っていきます。

**問** ネーミングとデザインも重要だが、ヒット商品を生み出してきたデザイナーを用いるなどの考えが必要だ。

**答** 選択肢の一つとして考え、今後アドバイザーなど専門家の意見も聞いてうえで進めていきます。

# 定例会議案等議決結果

## 【市長提出議案】

議案番号	件名	付託先	委員会の審査結果	本会議の議決結果
議案第1号	鴨川市地域振興基金条例の制定について	総務	可決	可決 全会一致
議案第2号	鴨川市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	賛成多数
議案第3号	鴨川市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	可決 全会一致
議案第4号	鴨川市税条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	賛成多数
議案第5号	鴨川市立図書館設置条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	可決 全会一致
議案第6号	鴨川市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	賛成多数
議案第7号	鴨川市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	可決 全会一致
議案第8号	鴨川市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	建設経済	可決	賛成多数
議案第9号	鴨川市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	建設経済	可決	可決 全会一致
議案第10号	鴨川市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	建設経済	可決	可決 全会一致
議案第11号	鴨川市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	賛成多数
議案第12号	千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	付託省略		可決 全会一致
議案第13号	平成23年度鴨川市一般会計補正予算(第4号)	付託省略		賛成多数
議案第14号	平成23年度鴨川市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	付託省略		可決 全会一致
議案第15号	平成23年度鴨川市介護保険特別会計補正予算(第3号)	付託省略		可決 全会一致
議案第16号	平成23年度鴨川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	付託省略		賛成多数
議案第17号	平成23年度鴨川市水道事業会計補正予算(第1号)	付託省略		可決 全会一致
議案第18号	平成23年度鴨川市病院事業会計補正予算(第1号)	付託省略		可決 全会一致
議案第19号	平成24年度鴨川市一般会計予算	予算	可決	賛成多数
議案第20号	平成24年度鴨川市国民健康保険特別会計予算	文教厚生	可決	可決 全会一致
議案第21号	平成24年度鴨川市介護保険特別会計予算	文教厚生	可決	可決 全会一致
議案第22号	平成24年度鴨川市後期高齢者医療特別会計予算	文教厚生	可決	賛成多数
議案第23号	平成24年度鴨川市水道事業会計予算	建設経済	可決	可決 全会一致
議案第24号	平成24年度鴨川市病院事業会計予算	文教厚生	可決	可決 全会一致
議案第25号	鴨川市名誉市民の決定につき同意を求めることについて	付託省略		同意 賛成多数
議案第26号	鴨川市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	付託省略		同意 全会一致

## 【諮問】

諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	付託省略	答 全会一致
-------	--------------------------	------	-----------

## 【発議案】

発議案第9号	鴨川市議会委員会条例の一部を改正する条例の改正について	付託省略	可決 全会一致
--------	-----------------------------	------	------------

## 【報告】

報告第1号	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解)		
-------	----------------------------	--	--

# ぎがい日誌

## 1月

- 16日 道路問題調査特別委員会現地調査（市原市）
- 20日 議員研修会
- 23日 議会報小委員会
- 25日 鳥取県米子市議会行政視察来鴨
- 27日 議会報編集委員会
- 31日 千葉県南12市議会議長会正副議長研修会  
～2月1日（富士市）

## 2月

- 2日 千葉県自治体病院経営都市議会協議会行政視察（市川市）
- 3日 広島県廿日市市議会行政視察来鴨
- 7日 千葉縣市議会議長会議長研修会（千葉市）
- 9日 安房郡市広域市町村圏事務組合議員懇談会（館山市）
- 10日 新潟県燕市議会行政視察来鴨
- 15日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会（千葉市）
- 21日 議会運営委員会
- 23日 南房総広域水道企業団運営協議会（大多喜町）
- 24日 第1回市議会定例会 ～3月22日  
議員全員協議会

## 3月

- 20日 安房郡市消防本部・館山消防署合同庁舎竣工式（館山市）
- 22日 議会運営委員会  
議員全員協議会
- 23日 埼玉県さいたま市議会行政視察来鴨
- 28日 安房郡市広域市町村圏事務組合議会全員協議会  
安房郡市広域市町村圏事務組合議会定例会
- 29日 神奈川県座間市議会行政視察来鴨

# 市議会を見る

次の定例会は  
**6月4日（月）** 開会予定です

市役所



議場にて

しっかり

1番のおススメは、議場の傍聴席。団体・グループでの傍聴もできます。また、議場にて議案等の貸し出しを行っています。

市役所



ティールームかもめにて

気軽に

コーヒーを飲みながらゆったりと。ここでお友達と気軽にどうぞ。

## ご家庭や公民館で

ご自宅のパソコンで、議会審議の様子が生中継でご覧になれます。



鴨川市議会

検索

## 会議録の閲覧

過去の会議録は、市議会ホームページや図書館、公民館でご覧ください。



平成24年4月分から議会交際費をホームページで公開していきます。

問合せは議会事務局まで。

編集後記

3月議会が終わり次年度当初予算決定、24年度に向けて新たな出発の時期となりました。

昨年度の未曾有の災害から復興中の経済状況の中、当市としていかに効果的な財政運営を行っていくかは言うまでも無く、この状況をいかに早急に打破していくか、我々市議会といたしましても市民の皆さん方の率直なご意見を市政に反映させながら全力を尽くしてまいります。

春爛漫、本年度が良い年になりますように……

